



》08 有限会社三協通信

令和3年10月認定



所在
埼玉県行田市南河原972
主な業務内容
電気通信工事
従業員
17人
設立年月
1985年3月

地震 リスク

最大震度6弱、液状化の可能性はやや高い

水害 リスク

洪水(対象河川:利根川)、最大浸水深:0.5~3.0m未満

概要

御社の概要を教えてください。

当社は、主に NTTの電柱新設、撤去、光ケーブル等の敷設及び接続、小中学校及び事務所のLAN工事(含むWiFiアンテナ関係)、TEL、FAX等の設置、一般家庭電話の販売、並びに飲食店(本社と同じ場所)の運営を行っています。

主力は、**光ケーブル関係及びLAN関係の業務で、通信ネットの一翼を担い、地域活動を支えています。**

なお、現在は北海道及び東北地区の光ケーブルの敷設工事の支援作業も請け負っております。

きっかけ

事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

近年インターネットなどの通信がますます重要になっており、地震や水害などの**災害発生時には多くの人がこの通信からの情報を必要とします**ので、この要望に応えるためです。

特に当社は、光ケーブルの敷設を通して**地域社会のネットワーク活動を支えること**と、LAN関係の業務を通じて、小中学校のICTインフラ整備を支えることを使命としていますので、**地域社会のご要望に応えるためにも、当社の事業継続力強化は必須**と考えています。

また、南河原商工会からの勧めもありましたので、最終的に策定を決めました。

苦労

計画策定で苦労した事と、その解決策を教えてください。

策定で苦労したことは、**当社の現場が複数あり、かつ本社から離れている**ことで、災害の被害想定を記述することが難しかったことです。また、災害発生時の対応も現場が日々変わることにより、想定することが難しかったです。

解決策は、**現場との連絡、現場の指揮系統の整理**をすることでした。(これは習熟・定着するまでの時間が必要です。)

社内外の変化

事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

災害発生時の想定被害(例えば、水害で3m浸水する地域があるとか、震度6強の地域があるとか)を、**従業員を含め関係者で情報を共有**することができたことは、大きかったです。

現場のリーダー達の災害に対する考えが新しくなったと感じています。

受注先からは、**災害時対応に対する意識が高くなった**と良い評価を受けました。

進捗

策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

- ①緊急時連絡網が整備され、平時にも連絡がスムーズになりました
- ②感染症対策について、消毒・検温の必要性への理解が深まりました
- ③当社内においても**災害対策本部設置の重要性が理解**されるようになりました
- ④**新卒の設計を考えておりますので、水害対策として約2mの土盛りすることに決めました。**

感想

事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

従業員一人ひとりが**災害発生時に何をすべきか、予防策を如何に考えるか**などを理解する良い機会になりました。

会社としても、災害時の資金繰りを考える機会になりました。

感想

計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

強化計画を策定することは、災害発生時の対応を考えることに繋がり、**取引先からの信用度も向上**することを強調したいです。

また、社長と従業員・関係者が災害時の想定被害をイメージすることは大変重要であることも強調したい点です。

感想

紹介者からの一言(南河原商工会)

行田市は**水害リスクが多く**また、以前社屋が竜巻被害を受けた事もありました。災害発生時には、遠方等へインフラ整備支援に向かう事もあるので、**様々なリスクを考え事業継続力強化計画の策定は必須**だと思い勧めました。

策定により**取引先からの信頼の獲得**や社内共有することにより、**意識の向上**に繋がっています。皆さんも是非事業継続力強化計画の策定をお勧めします。